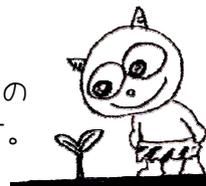


平成22年8月15日

発行
NPO法人
まめってえ鬼無里
住所 長野市鬼無里
日影 4258-1
電話 050-3736-6218
FAX 020-4622-9939
毎月1回ぐらい発行
URL <http://www.kinasa.net>
mail mamettee@kinasa.net

まめってえ鬼無里
🌻🌻🌻🌻🌻

～どんなことをしていくの？～ その3「環境の保全を図る活動」



環境の保全とは、どういうことでしょうか？ 環境とは、“自然環境”のことです。“保全”とは、“保護して安全であるようにすること”だそうです。「環境汚染」「環境破壊」「地球温暖化」などなど様々な危険から守り、安全であるようにすることが目的となります。

鬼無里にとっての“保全すべき環境”は、「奥裾花自然園」を含んだ『奥裾花溪谷』と、『里山』（人が住む周りの山）と『山村』（人が住んでいる所）です。

奥裾花溪谷は「未来に残したい日本の自然100選」（1983年朝日新聞社・森林文化協会発表）と「日本の水源の森百選」（1995年林野庁発表）に選ばれています。他にも1989年雑誌「旅」にて「日本の秘境100選」にも選ばれています。そこで、「奥裾花溪谷は、単なる観光地・単なる森ではない！」と指摘している専門家がいます。

今現在、行政の政策や関与の上で管理されていますが、麓の山村に住む者として、無関心でいたり、手をこまねいているだけではいけないのです。

…とはいえ、私たち『NPO法人まめってえ鬼無里』は自然の保全団体ではありません。あくまでも「まちおこし・地域づくり」を目的としています。そこで（ここでやっとなめってえとの繋がりがでてくるわけですが）「共生」や「循環型社会」を提唱していこうと考えています。

簡単な例を挙げて説明すると、地球にとって有害な二酸化炭素を削減する、その代わりに森林の豊富な水を使って発電をさせてもらう、間伐材を再利用させてもらう…というようなことです。それによって、自然も守れて、雇用機会が増えたりして地域が活性化する…など、他にも多くの恩恵に預かれることでしょう。

また、『里山』や『山村』においても、考えさせられることが沢山あります。地域にある資源を有効利用し、持続可能な社会に作り変えることが必要となります。目指すは「環境保全の先進地」です。それによりもたらされるものは、地域の活性化にとどまらず、「人らしい健全な生き方をする」という、現代人に課せられた最も重要な課題も克服できます！！

先日、理事会でも、「自然に優しく」という発想を「まちおこし」の軸にしようと決定しました。それはそのまま、私たちの全ての活動の信念となります。「便利さ」や「合理的」なだけでは得られない、魅力的な鬼無里を生み出そうとしているのです！！

9月のイベント案内（他団体主催）

- 20日 第6回鬼無里市開催
20日 ※おやき作り講習会(蒸しおやき・焼きおやき)
26日 ※奥裾花自然環境学習会<奥裾花溪谷を歩く>
※マークはそれぞれ申し込みが必要です。

<いろは堂ギャラリー情報>

- 8月25日～9月13日 長野美穂 イラスト
9月15日～10月4日 古谷 陶芸(テーブルコーディネイト)

9月11日～13日

埼玉県越谷市立富士中学校 ふるさと体験学習
鬼無里の家庭(30軒)にて中学生120名を受け入れ。
ホームステイしながら、農作業や田舎ならではの体験をします。

このような、修学旅行を中心とした、都会の中学生の受け入れは、4年前から行っています。今まで受け入れた生徒の数を合計すると、3309人になります。体験内容は、田植え・きのこのコマ打ち・草取り・そば打ち・おやき作り・豆腐作り・ブナの植樹・星空観察・まき割り…と、各家庭でそれぞれ工夫しています。

この「村」に住んで

理事 竹内 正和

早いもので鬼無里に移り住んで2年半が経ちました。

都会生活に矛盾を感じ、嫌気が差しながらの都会での生活は本当に不甲斐ないものです。しかし、田舎に移り住む計画を立ててからはソコに大きな希望を抱いたものでした。

縁あって鬼無里に移住し、ここで生活するというところに大きな意義を感じ、何も分らない初めのうちはどんなに雨が降っていても心は晴れ晴れとしていたものです。

2年以上経った今、曇っているのかといえそうですがわけではないのですが、「村」における問題点などが徐々に徐々に我が身に降りかかってくる、??と思うことが出てきました。

好きで住んだ鬼無里の「村」。村の健全化無くして自分の健全化無し！と勝手に思い込みはじめ、何とかならないか？と思えども、新参者の自分に何が出来る？と言う頃のこと。「まめってえ」へのお誘いは年明け早々でした。同じ思いの仲間達との我が身を削っての？活動は充実そのもの。しかし、もっと時間をかけたいのになかなか出来ない。またまた不甲斐ない自分が…。

個人的この「村」でやりたいたいこと、やらなければならぬこと沢山あります。が、まだまだ半分も出来るようになっていません。まずはそれらをやっからだという声もありますが、物と一緒に、今、種を蒔かなければ一年も待たなければと思うと、少しぐらい無理しても今がなければならぬ。日本に無二の鬼無里の「村」を目指し踏ん張り時です。